

広報

座光寺

2017
6
No.41

座光寺風景

青空に元気いっぱい泳ぐ鯉のぼり

今年も4月下旬から5月中旬まで、天竜川河川敷にある「水辺の広場」に鯉のぼりが揚げられました。7月16日には「水辺の広場で遊ぼう!」というイベントも開催されます。川遊びや魚のつかみ取り、五平餅や流しそうめんなどお楽しみもたくさんありますので親子で参加してみたいはいかがでしょうか?

この計画は、昨年一年余をかけ、小学生の作文や絵を始め多くの方に参加していただき、議論を重ね苦勞して出来上がったものです。それだけに、この計画を推

役員改選によりまして、この四月から自治会長の職を務めることになりました北市場在住の福田です。もとより力不足ではございますが、地域の皆さんのご指導、ご協力をいただきながら、自分なりに精一杯努力していきますので、宜しくお願い致します。



自治会長
福田 富廣

みんなで「麻績の里
座光寺」づくりを!

進することが使命であり、自治会傘下の委員会を中心に、住民の皆さんの行動をお願いするものです。七月には全戸へ計画書をお配りしますので是非一読いただき、できることから取り組んで頂ければ幸いです。

さて今日、座光寺地域は、大変革期を迎えています。リニア中央新幹線整備事業を始め、関連道路整備事業、恒川官衙遺跡整備事業、産業振興の知の拠点整備事業など大型プロジェクトが動き始めています。

様々な課題がありますが、将来に禍根を残さないよう努めていきたいと考えています。結びに、基本構想に掲げた「自ら考え自ら行動すること」をまちづくりの基本姿勢として、未来を担う地域の「主人公」である子供たちが、夢と誇りの持てる「麻績の里 座光寺」づくりを、みんなが進めましょう。

今年度の重点目標と活動方針について

自治会活動方針

自治会長 福田 富廣

平成二十九年度は、「第二次座光寺地域基本構想・基本計画」のスタートの年です。

『あなたも私も暮らしやすい自然・歴史・文化・ものづくりが煌めく新舞台「麻績の里座光寺」の実現に向けて六つのまちづくりを基本方針とし、さらに主要な施策で目標を定め、個別計画で実践していきます。

五委員会と五特別委員会は、基本構想の推進を担う中核的団体として、基本構想に基づいた事業に、それぞれの役割を果たしながら連携をとって精力的に取り組みます。そして、年度末には進捗状況を検証し次年度につなげていきます。

さて今日、座光寺地域は、様々な課題を抱えています。情報共有と地元関係者への周知・理解を深めるとともに、必要に応じて地域としての意見、要望等を関係機関へ働きかけるなど整備事業に協力していきます。

一方、社会問題化している人口減少・少子化・高齢化についても、共助の心で地域課題の解

決に向けて取り組んでいきます。

こういった状況を踏まえ、私たちは、誰も（特に子どもたち）が将来に希望と自信を持つて心豊かにいきいきと暮らせる質の高い「麻績の里 座光寺」を創造していかなければなりません。「自ら考え自ら行動すること」を基本に、活動方針を定め、みんなでより良い麻績の里づくりを進めましょう。

そこで、自治委員会としては、地域自治会の主体的な役割を担うべき、重点的事項を中心に取り組んでいきます。

①「第二次座光寺地域基本構想・基本計画」の推進。②インフラ整備事業に関し、地域及び関係者の意向が尊重されるよう、関係機関と連携しながら対応していきます。③国史跡の恒川官衙遺跡の「整備基本計画」及び、高岡一号古墳の「保存管理計画」の策定に、地域の意見を要望するなど参画、協力していきます。④「知の拠点整備を見越し、地域の発展につながるような活用」の検討を進めていきます。⑤地域の魅力をホームページ等により情報発信するなど、交流人口の増大を目指していきます。⑥訓

練などを通じて住民の防災意識の高揚を図り、安心安全なまちづくりを目指します。⑦夏祭りは、子どもたちの心に残るような、そして多くの住民が参加し楽しめる祭りに努めます。⑧みんなを支え合う地域福祉の充実に努めます。⑨地域が元気になる活動を支援します。⑩組合加入率の維持に努めるために、加入促進を呼びかけます。⑪土地利用計画の見直しを、市とともに取り組みます。⑫市の「田舎へ還ろう戦略」や「飯田コミュニティスクール」に地域として参画し展開していきます。⑬地域自治会の各委員会との横の連携を強め、事業推進につなげます。

以上、十三の重点的項目をあげ、取り組んで参ります。地域皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

環境保全及び

生活環境の推進

環境衛生委員会

委員長 麦島 勝彦



四月より環境衛生委員会も、新メンバーとなりスタートし

ました。今年度は、下久堅稲葉クリーンセンターの建設が進められており、九月より試運転、十二月より稼働という事で、それに向けて分別内容が大きく変わります。飯田市環境課からの説明会開催を計画し、適正な分別処理が行われるよう周知していきたいと思っています。また、これと関連致し、高齢者・障がい者世帯等のゴミ出し、リサイクルステーションの利用の補助の検討、実施をしていきたいと考えております。

未だに後を絶たない不法投棄問題ですが、毎年同様パトロールの実施と撤去作業を行っていきます。また防止啓発看板の設置、見づらい看板の交換、あまりにもひどい不法投棄場所には、防犯カメラ等の設置を検討していきたいと思っています。河川清掃・草刈り作業、ごみゼロ運動につきましては例年のように実施し、環境美化に努めていきます。しかし河川清掃・草刈り作業は、参加者が年々高齢化してきています。現状では、今まで以上に安全等に気を配らなければいけないと思います。

今後の課題として検討しながら進めていきたいです。リサイクルステーションの利用

啓発については、アルミ缶回収事業基金特別会計に大きく関わってくるので、チラシ等を利用して啓発活動を行ってきたいと思っています。

今年度の活動方針

生活安全委員会

委員長 森谷 公雄



平成二十九年度より生活安全委員長を務めさせていただきましたことになりました。新年度がスタートしましたが、わからない事ばかりですので、委員の皆様、また多くの方の力を借りながら二年間頑張っていきたいと思っています。

二十九年度としましては、昨年度までに培われてきた事業は引き続き行わせていただくと共に、重点事業として「高齢者の交通事故防止策の充実」と「子どもを見守る体制の充実」の二本の柱をかげて活動していきます。

長野県内では六十五歳以上の方の事故が全体の四割を占めているという現実と向き合い、少しでも高齢者の事故が

無くなつていくよう行政及び警察との連携を強化し各種関係団体の方々へも協力を呼びかけていきたいと考えています。

飲酒運転に関しましても大事な家族が犠牲に、または加害者にならないよう啓発等に力を入れて頑張りたいと思います。

また、小学校・保育園の先生方、保護者の皆様と協力して子どもたちを見守る地域の方々がもっと増えるように座光寺のホームページ等活用し、いろいろな活動を発信して地域の方々に知っていただき、住みよい安全な地域にしていきたいので、ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

健康やかに安心して暮らせる麻績の里へ

健康福祉委員会

委員長 上沼 琢仁



今年度の重点目標は「住民支え合いマップ」の更新・婚活の支援・健康寿命を延ばす事に取

り組んで参ります。

「住民支え合いマップ」においては、災害時要援護者の情報を更新するとともに、支援者との日常的な見守り支え合い活動につながるように、民生委員との連携を図り進めて参ります。マップに基づいて、各支部ごとに計画を立て、一人暮らしの高齢者への声かけ、見守り、訪問を実施して参ります。

婚活の支援においては、昨年度より始まっている「お見合い作戦」を更に充実させ、登録者一人ひとりの事を考えたより丁寧な支援を実施して、少子化の解消と後継者の確保を図りたいと思います。

健康寿命を延ばす取組みとしては「ふれあいサロン」「いきいき広場」の運営によって、高齢者のつどいの場を作り、外出の機会を提供し、引きこもりや体力の低下を予防します。また、各種健診の受診を積極的と呼びかけます。

その他の恒例事業として、敬老祝賀会・福祉バザー・戦没者慰霊祭の社協活動事業に関するものや、座光寺文化祭への参加、高齢者及び障がい者への移送サービス、上郷北部デイサービスへの運営参加、共同募金活動への協力があります。

それぞれの実施に向けて共助の心で地域福祉の向上に努めて参りますので、皆様のより積極的な参加と協力をよろしくお願い致します。

積極的な参加で知るごとと親睦を

公民館委員会

公民館長 塩澤 哲夫



公民館は、いつも皆様に大変お世話様になっております。

今年度は、これまでの企画を検証し、発展させます。

重点としては、

①保小・中・高との連携と協働、

世代間交流

地域の子どもさんを、学校・家庭・地域の一人ひとりが力を出し合って健全に育てようと「コミュニティスクール」が動き始めます。具体的な支援、連携と協働、交流に取り組みます。

自分の得意なこと出来ることで、ぜひ参加してください。

中高生の皆さん、地域の一員として活躍してください。

②事業の見返しから

リニューアル

皆さんに満足してもらえる事業になるよう、一層工夫していきます。

引き続き、女性委員の会の皆さんが、名物を作ろうと活躍しています。応援してください。

③地域を学ぶ・知る機会を

「知るは喜び」です。座光寺にはまだ知らないことがいっぱいあると思います。

公民館企画だけでなく他の委員会でも事業を計画します。

地域を知り学ぶ機会に、子どもさんと一緒に、ぜひ親御さん祖父母の皆さん、お出かけください。

積極的に参加する事を通して交流と親睦を深めて、座光寺の自慢できることや名物を知り、座光寺の素晴らしさを実感してください。

よろしく願ひいたします。

ボランティアで

人生を楽しむ

麻績の里振興委員会

委員長 筒井 誠逸



麻績の里振興委員会の今年のテーマは「ボランティアをして

楽しもう」が一番の活動方針です。又、重点目標として「全員一人ひとりが輝く」を目標としたいと思います。

具体的には

一、自分の得意とする事を存分に発揮できる仕事分担。

二、皆が楽しめる事業を企画する。

三、地区の人に認められ、尊敬される存在を目指す。

の三点の実行です。その為には、全会員一人ひとりの意見を聞き、取り入れていく事が大切だと思います。

また、本音で話し合える会合にし、会員の心を一つにして活動したいものだと考えています。座光寺でボランティア活動を通じ、人間関係を新たに築きたい方は老若男女を問わず『麻績の里振興委員会』に来てください。入会も脱会も自由です。自己の意見を尊重します。

現在は四班に分かれて活動しています。元善光寺を中心とした事業・舞台校舎と校を中心とした事業・南本城を中心とした事業・竹宵の事業など十数年の実績があります。

今までの成果を踏まえ、新規事業への挑戦も否定しません。『自ら考え、自ら行動する』が変わらぬ理念ではありますが、新

しい事にもチャレンジする年にしたいとも考えています。振興委員会の皆様、共に前を向いて前進して行きましょう。

自然を守り

楽しい活動を

水辺の広場委員会

委員長 大澤 義信



私達、水辺の広場委員会の活動に対し日頃より行政、並び自治会をはじめ地区の皆様方のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年度の重点事業ですが天竜川河川敷にあります「水辺の広場」の自然環境を保全し、その自然と共存しながら、地域住民の皆さんが楽しく触れ合える交流の場としての環境作りを本年度も行つて参りますのでよろしくお願い致します。今年度計画している主な事業は次の通りです。

一、環境整備作業

年三回の草刈り、(五月・七月・九月)及びゴミ拾い。アメリカシロヒトリの駆除、石川除保全への協力。

二、保全活用事業

鯉のぼり設置、ホタルの観察会、天竜川での川遊び、啓発看板の設置、文化祭展示及び表彰。

活動内容は前記の通りです。

これからの問題ですが、年々減少しつつあるゲンジ・ヘイケホタルの生息です。リニア新時代を迎えるにあたり自然保護活動を進める必要があります。沢山のホタルが舞う環境が守られれば良いのですが、今後の課題とします。

みんなで座光寺を 元気にしよう

ふるさと応援倶楽部

企画委員長 古井 武志



これからの座光寺地区はリニアを見据えての様々な対応をしていかなければなりません。

行政は勿論ですが、何よりもそこに住む私たち住民がその気になって自分たちの地域を自分自身で安全で住みやすい元気な地域にしていこうという気持ちを持たなければい

けません。座光寺地区には今

も自主的に活動しているいくつかの団体やグループがあります。それらがお互いに連携したり、励まし合つて良い地域づくりを目指して取り組んでいくことが大切です。そのお手伝いをしようというのが「ふるさと応援倶楽部」です。

今年度も「夢を語る会」を開催し、お互いに情報交換をして地域の活性化に繋げていきたいと思っています。

地域の情報発信のために「座光寺便」という小さな情報誌とインターネットでの「ホームページ」を活用しています。

活動をしている各団体やグループで選んでいただいた地域情報隊の皆さんのご協力でホームページをより良いものにしていきたいと思っています。

「ふるさとパック」は座光寺出身の方々のご注文を受けて「ふるさとの旬」を詰め合わせてお届けするというものです。

多くの皆さんのご協力をいただいて座光寺地区を益々元気な地区になるよう頑張っていきたいと思っています。

歴史・文化遺産を 生かして地域振興 に励みたい

歴史に学び地域をたずねる会

会長 小島 稔



「七年間の活動を振り返って」

私たちは、地域の自然、歴史・文化を受け継ぎ、後世に伝え残すと共に、それを活かして地域の活性化を図ろうと取り組み、七年が経過しました。

「地域を学び合う」学習会開催、地域遺産への看板設置、遺産紹介の「座光寺ふるさとマップ」等の作成、また、残された歴史資料の整理保存、更には移り変わり行く自然や人々の生活、古老の思い出の聞き取り等をしてきました。

この間、念願であった恒川官衙遺跡・高岡一号古墳の国史蹟を始め、南本城の県史蹟、さらには石川除けの市史蹟の指定なども実現しました。

「リニア新時代を見据えた、

新たな取り組み」

我が故郷は、文字通り「歴史と文化の薫る郷」。それらを

輝かせることが地域振興の鍵。

この度、今までの活動が認められ、文化庁の「文化遺産総合活用推進事業」の補助対象になり、今後五年間支援が頂けることになりました。

今までの活動を継続しつつ、本年は次の点に重点を置き、活動を深めたいと考えます。

○リニア新時代を見据えて、観光ボランティア育成とその他の資料作りを始める。

○資料整理などを通し課題となった地域の歴史を学び、深め合うと共に、地域を学ぶ学習を充実させる。

○古老の語る「経験と記憶」を集め、五年後に書物にまとめるよう準備を進める。

期待をもつて活動

パノラマファーム大門

場長 代田 勝



私たちの第一の目標は、不耕作農地を守ることを重点にして活動しています。

そして、座光寺地区の最上段にあるこの絶景スポットを地区の宝として残したいとい

う思いで活動をしています。一年間に四回の草刈りと「そば」の栽培を行い、そこから採れた「そば粉」を使用して地区のイベントに提供ができればと考えています。

また、このすばらしいパノラマをもっとたくさんの方々知っていただきたく「アサギマダラの会」の皆さんと連携してアサギマダラが好む「フジバカマ」という植物を植え付けましたので、秋には

土地利用計画の運用管理と今後の見直し

土地利用計画運営委員会

委員長 吉川 節雄



座光寺の持つ優れた特性(里山・文化・歴史・景観等)を次代に引き継ぐために策定されているのが土地利用計画です、「自分たちがルールを作り、自分たちで地域づくりを進める」を基本に整備の方針が示されています。良好な景観の保全・育成とあなたも私

たくさんの方のアサギマダラを見ることができると思います。

都市交流事業として、修学旅行生の農業体験も受け入れられています。また、七年前に渋谷区との交流で植え付けたり、パノラマの木もたくさんの実を付けるようになり、そこから収穫したリンゴと座光寺産のリンゴで「シールド」というお酒を造り、より交流の輪が大きくなればと期待しています。

も暮らしやすい環境づくりのために、屋外広告物に関することや住宅等を建築する時など地域独自のルールが設定されています。

今後リニア中央新幹線・アークス道路・スマートインター・国道一五三号線等また、代替地候補地等の計画が進むにつれ、土地利用計画の見直しが必要となりますが、飯田市土地利用計画の推移をみながら、第二次座光寺地域基本構想・基本計画に掲げる「一人の生活、暮らしに優しい土地利用」に向けて、秩序ある土地利用がなされるよう見直しを行っていきたいと考えております。

地域の防災を担う一員としての活動

日赤奉仕団

分団長 斉藤 順子



日頃は、日赤奉仕団活動にご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。防災体制の確立と一人ひとりの防災意識向上の大切さを感じています。

消防団活動について

座光寺消防団

分団長 高木 孝政



地域の皆様におかれましては、日頃より消防団活動にご理解、ご協力誠にありがとうございます。

消防団では『自分たちの地域は自分たちで守る』を合言葉に活動しています。月二回

日赤奉仕団では地域防災訓練や消防団の春と秋の非常招集訓練に参加し、炊き出し訓練を行いました。また、毎月の勉強会で救護技術の習得にも努めています。

なお、今年度より「日赤社費」から「日赤活動資金」へと名称変更されています。また、「社員」については「支援者」と名称が変更されました。地域防災を担う一員として、皆様のご協力のもと活動して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

の広報活動で地区内を回り、安全安心を確認しております。また、非常招集訓練・水防訓練署合同訓練などで様々な技術を身に付けています。今後は地域の皆様から頼りにされる消防団でいられるよう日々頑張っていきたいと思っております。これからの課題としまして、団員の勧誘活動にも力を入れていきたいと思っております。最後になりましたが、今後とも消防団活動にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

自治振興センター職員の異動

四月の市役所人事異動により、新しく二人が着任しました。

〈転入〉



出納・庶務担当
小山真由子



保健師
井坪 友香

〈転出〉

○出納・庶務担当
清水千栄子

(三穂自治振興センター)

○保健師 筒井 幸子

(健康推進係)

平成29年度 地区長名簿

宮前 唐沢 共羽 下羽 中羽 欠野 河岡 高岡 清川 恒通 市場 北野 上野 万野 大宮 堤崎

井生 壬田 正木 伊原 棚田 石井 佐々木 北村 片桐 倉林 小島 木下 和田 湯田 中沢 秀典 和隆 淳彰 眞典 政郎 守稔 雅生 哲一 良一 利幸 正幸 憲典

自治会表彰

自治会活動の想い

北原 三三

このたび、栄えある自治会表彰を戴き身の引き締まる思いであります。これもひとえに多くの自治会関係者のご支援、ご協力があったからこそと改めて感謝申し上げます。

自治会に入る前までは、この地で生まれ育った者として、いずれば地域のなかで取組むべきことがあるのではとの想いがありました。自治会活動を通じて特に感じたことは、普段何気なく通り過ぎていた所でも見えないものが見えてきたり、多くの方々と知り合えたり等、自分にとってはかけがえのない四年間でありました。



あいさつする北原さん

人波作戦を行って

生活安全委員会

木下 義美



人波作戦の様子

去る、四月六日、春の全国交通安全運動初日に合わせ、座光寺平安堂前、国道にて人波作戦が行われました。

参加者は生活安全委員、市職員、交通安全関係者と五十人近い人波が全国交通安全運動を呼びかけました。

私も本年度より生活安全委員となり初めての人波作戦への参加でした。今までは車の中から人波作戦を見る事ばかりでしたが、旗を持ち、呼びかけ意識を持つ事で交通安全への思いを新たにしました。人波作戦によって一人でも多くの方に交通安全の意識が少しでも届く事を願い、今後様々な生活安全委員活動を行っていきます。

桜ガイドを

経験して

座光寺小学校 黒川 一樹

ぼくは、四年生から桜ガイドを始めました。友だちにさそわれたのがきっかけで、楽しそうだなと思ったので始めました。

初めは全然わからず、友だちに教わりながらやりました。はずかしくて、なかなか自分から声をかけることができませんでした。

今では、外国の方にも一人

舞台桜とともに

味わうお茶会

飯田女子高等学校 茶道クラブ

クラブ長 原田萌花

私たち飯田女子高校の茶道クラブは、四月十五日に行われた「麻績の里桜まつり」で、お茶会をさせていただきました。雨が降ったり止んだりの天気でしたが、多くの方に桜を見ながらゆっくりとお茶を飲んでいただけたと思います。

三年生は、「立礼」というお手前をしました。桜の前ということもあり、気持ち良くお



一生懸命ガイドしています

で声をかけられるようになりました。僕たちがガイドをすると、ほめてくれたり、喜んでもらえます。また、遠くの人たちとコミュニケーションがとれて、色々知る事ができます。

手前をすることができました。お客さんの要望に合わせてお茶の濃さを調整することで、年齢問わず子どもからお年寄りの方まで、お茶を飲んでいただくことができました。

また、本校の邦楽クラブのみなさんの演奏発表も行なわれ、落ち着いた雰囲気の中、お茶をもてなすことができました。二年生にとっては初めての、三年生にとっては最後の、この麻績の里でのお茶会でしたが、とても貴重な体験をさせていただくことができ、

できれば、来年も桜ガイドをやつていきたいと思えます。最初はきん張るけれど、やっているとなんか楽しくなるので皆さんも参加してみてください。



桜ガイドの皆さん

クラブ員で協力して無事終えることができました。これも、ご担当の方、地域の皆様のおかげです。ありがとうございます。



女子高生による おもてなし

平成29年度 地域自治会予算

(収入の部)

(単位:円)

予算区分	金 額	説 明
1. 会 費	17,220,000	個人会費、法人会費
2. 消 防 協 力 費	1,350,000	
3. 補 助 金	8,129,970	市県からの各種補助金
4. 負 担 金	285,000	会議参加者負担金、他
5. 繰 入 金	500,000	公共事業基金からの繰り入れ
6. 繰 越 金	5,994,595	28年度繰越金
7. 雑 入	20,435	利子、祝儀等
合 計	33,500,000	

(支出の部)

(単位:円)

予算区分	金 額	説 明
1. 報 酬	1,100,000	自治委員報酬
2. 諸 手 当	1,778,500	各種委員手当
3. 賃 金	1,120,000	事務補助、他
4. 報 償 費	505,000	地区役員報酬
5. 旅 費	2,650,000	地域外会議参加費用弁償
6. 交 際 費	350,000	祝儀、香典等
7. 需 用 費	1,070,000	消耗品、会議費、他
8. 役 務 費	398,000	保険料、手数料、他
9. 使用料・賃借料	100,000	借地料他
10. 原 材 料	50,000	生コンほか
11. 地 域 振 興 費	9,102,000	ふるさと座光寺会、他
12. 各 委 員 会 費	8,058,000	環境衛生、生活安全 健康福祉、公民館
13. 施設整備、管理費	550,000	麻績会館、防災倉庫、他
14. 備 品 購 入 費	150,000	事務機器等
15. 負担金、助成金 及び交付金	4,460,000	自主防災会、各区連絡会、 麻績の里づくり支援事業、他
16. 積 立 金	50,000	バザー売上金積立
17. 予 備 費	2,008,500	
合 計	33,500,000	

平成28年度 地域自治会決算

(収入の部)

(単位:円)

予算区分	金 額	説 明
1. 会 費	17,154,120	個人会費、法人会費
2. 消 防 協 力 費	1,353,600	
3. 補 助 金	12,250,850	市県からの各種補助金
4. 負 担 金	285,000	会議参加者負担金、他
5. 繰 入 金	0	福祉バザー基金特別会計繰入金
6. 繰 越 金	5,654,204	前年度繰越金
7. 雑 入	110,975	利子、祝儀ほか
合 計	36,808,749	

(支出の部)

(単位:円)

予算区分	金 額	説 明
1. 報 酬	1,010,000	自治委員報酬
2. 諸 手 当	1,754,100	各種委員手当
3. 賃 金	799,070	事務補助賃金自治会負担分
4. 報 償 費	480,129	地区役員報酬、他
5. 旅 費	853,310	地域外会議参加費用弁償、他
6. 交 際 費	235,400	祝儀、香典等
7. 需 用 費	1,053,080	消耗品、会議費、他
8. 役 務 費	342,858	保険料、手数料、他
9. 使用料・賃借料	73,044	機器リース料、他
10. 原 材 料	0	
11. 地 域 振 興 費	11,257,683	ふるさと座光寺会、他
12. 各 委 員 会 費	8,222,000	環境衛生、生活安全 健康福祉、公民館
13. 施設整備、管理費	961,607	麻績会館、防災倉庫、他
14. 備 品 購 入 費	61,992	事務機器等
15. 負担金、助成金 及び交付金	3,639,400	自主防災会、各区連絡会、 消防団、他
16. 積 立 金	70,481	バザー売上金積立
17. 予 備 費	0	
合 計	30,814,154	



片桐会長の講演

五月八日(月)午後一時より麻績の館にて「二十九年度麻績いきいき大学」の開校式が行われました。(四十一名参加)

学長の塩澤公民館長の挨拶に始まり、前年度の会計報告、今年度の運営役員の選出などおよそ三十分で終わり、そのまま第一回一般教養講座に入りました。

今回の一般教養講座は「大人の工場見学」と題して、豊丘村にある天恵製菓(株)本社工場を訪ね工場見学をさせて頂きました。麻績の館からジャンボタクシー四台に乗り込み、



天恵製菓に到着。第二工場の二階にある会議室にて、片桐裕取締役会長から天恵製菓の経営信条などのお話を十五分程聞き、いよいよ工場内の見学です。

用意されていた見学者用の制服に着替え、マスクにキャップを付け手洗い消毒をし、エ

アシャワーを浴びて工場内に入りました。工場の中はきれいに整理整頓されていて、働いている社員の皆さんも若い方が多い気がしました。(後で聞いたところ社員の平均年齢は三十二歳だそうです。)



最後に会長さんと一緒に工場の前で記念撮影をして解散となりました。(広報部今村)

座光寺の自然 シリーズ⑧ アレチウリの侵入

その地域に本来は無かった植物が、人の活動によって海外から侵入してきた植物を「帰化植物」と言っています。座光寺にもいくつかの帰化植物があります。「いくつか」といつてもかなり多く、調べると天竜川付近では帰化植物のほうが種類数、個体数とも在来種より多くなっています。アレチウリはその一つで原産地は北米。増えすぎて、在来の植物が被害を受けているので危機的にみられています。

や南大島川沿いにかなり上まで進出しています。宮崎の大門原には果樹園の周りに生えていますし、山沿いの水田内につるが伸びていることがあります。

どんな被害？

アレチウリの脅威は他の植物を覆って、枯らしてしまうことにあります。覆われた植物は光が不足するのです。同じように覆うフジなどは葉っぱが複葉といって小さな葉からできていますから、下に光が洩れます。下の植物は成長できませんが枯れることはありません。

なぜアレチウリは強い？

植物は光を獲得するために高さ競争をしています。丈が高くなるには根元を太くしなければならぬので、光合成でつくった糖で茎を太くします。ところがつる植物は根元を太くせずに、光合成でつくった糖で茎の先端を長くするので、そのために株元が細く、立っていられませんから他の



つるで他の植物にしがみつく



5月中旬の芽生え（天竜川河原にて）
この頃だと容易に抜ける。しかし一か月もすると株元を見つけることは困難だ。7月にも芽生える個体がある

対策は無いのか？



果実には刺がある。この刺のひつつく力はあまり強くない

える個体があること、そして周辺地からの侵入があることです。果実の周りには刺があり、人や動物にくつつきやすくなっています。

今のところ抜き取るしかありません。それには大勢で広範囲で一年に何回か実施しなければ効果がでないのです。芽が出た直後は簡単に抜けます。しかしつるが1メートルを超すと根元が見つかりにくくなり、思うように抜けません。発芽時期に幅があり、七月までは新しい芽が出てきます。また一年間休んで芽が出る個体もあります。年数回、二年続ける種子を根絶やしにできます。ただ広範囲でやらないと隣接地区から入り込んできます。（伊那谷自然友の会 小林正明）

編集後記

今年は、春の訪れが少し遅く桜も平年より一週間ほど遅れて見ごろを迎えました。

四月から広報部も新メンバーを加えてスタートしました。前年度から留任した三名以外は、初めて広報紙作りに関わります。今年度も原稿依頼だけでなく「広報部員が自ら取材し記事を書く」という取り組みを続けて行きたいと思っています。

と言うことで、早速五月八日の二十九年度麻績いきいき大学」の取材に行ってきました。取材記事は七ページに載せてありますので、ぜひご覧下さい。

文字数の関係で記事には書きませんでしたが、天恵製菓の片桐会長さんは座光寺にお住まいで「いきいき大学で講演して欲しい」とお願いしたところ「講演なんかより工場を見学してみて下さい」と招待してください。今回の工場見学が実現したといういきさつがありました。

実際、現地に行つて取材してみると、「参加してみる」事で気付く事がたくさんありました。これから広報部員みんな協力しあつて出来るだけいろんな行事に参加し、良い「広報座光寺」を作っていきたいなあと思えました。（広報部今村）